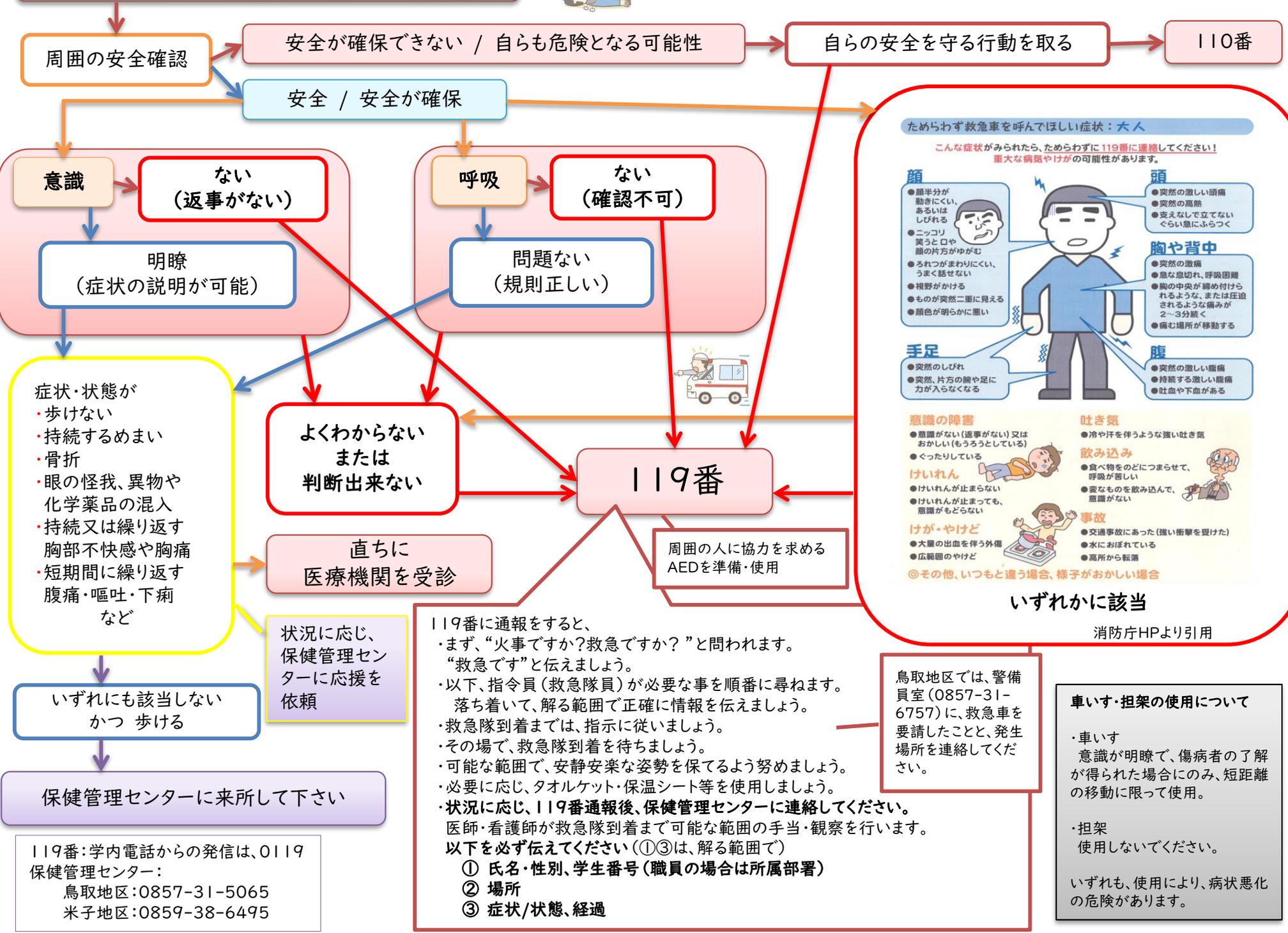


大学構内での体調不良者・傷病者発生時の対応



鳥取大学救急対応フローチャート



ためらわず救急車を呼んでほしい症状：大人

こんな症状がみられたら、ためらわずに119番に連絡してください！
重大な病気の可能性がります。

- 頭**
 - 前半分が動きにくい、あるいはしびれる
 - ニックリ笑うと口や顔の片方がゆがむ
 - るれつがまわりにくい、うまく話せない
 - 視野がかける
 - ものが突然二重に見える
 - 顔色が明らかに悪い
- 頭**
 - 突然の激しい頭痛
 - 突然の高熱
 - 支えなしで立てない
 - ぐらいいきにふらつく
- 胸や背中**
 - 突然の激しい胸痛
 - 急な息切れ、呼吸困難
 - 胸の中央が締め付けられるような、または圧迫されるような痛みが2〜3分続く
 - 痛み場所が移動する
- 手足**
 - 突然のしびれ
 - 突然、片方の腕や足に力が入らなくなる
- 腹**
 - 突然の激しい腹痛
 - 持続する激しい腹痛
 - 吐血や下血がある

- 意識の障害**
 - 意識がない(返事がない)又はおかしい(もうろうとしている)
 - ぐったりしている
- 吐き気**
 - 冷や汗を伴うような強い吐き気
- 飲み込み**
 - 食べ物をのどにつまらせて、呼吸が苦しい
 - 変なものを飲み込んで、意識がない
- けいれん**
 - けいれんが止まらない
 - けいれんが止まっても、意識がもどらない
- けが・やけど**
 - 大量の出血を伴う外傷
 - 広範囲のやけど
- 事故**
 - 交通事故にあった(強い衝撃を受けた)
 - 水におぼれている
 - 高所から転落

◎その他、いつもと違う場合、様子がおかしい場合

いずれかに該当
消防庁HPより引用

119番に通報をすると、まず、“火事ですか？救急ですか？”と問われます。“救急です”と伝えましょう。以下、指令員(救急隊員)が必要な事を順番に尋ねます。落ち着いて、解る範囲で正確に情報を伝えましょう。救急隊到着までは、指示に従いましょう。その場で、救急隊到着を待ちましょう。可能な範囲で、安静安楽な姿勢を保てるよう努めましょう。必要に応じ、タオルケット・保温シート等を使用しましょう。状況に応じ、119番通報後、保健管理センターに連絡してください。医師・看護師が救急隊到着まで可能な範囲の手当・観察を行います。以下を必ず伝えてください(①③は、解る範囲で)

- ① 氏名・性別、学生番号(職員の場合は所属部署)
- ② 場所
- ③ 症状/状態、経過

鳥取地区では、警備員室(0857-31-6757)に、救急車を要請したこと、発生場所を連絡してください。

車いす・担架の使用について

- ・車いす
意識が明瞭で、傷病者の了解が得られた場合にのみ、短距離の移動に限って使用。
- ・担架
使用しないでください。

いずれも、使用により、病状悪化の危険があります。

119番:学内電話からの発信は、0119
保健管理センター:
鳥取地区:0857-31-5065
米子地区:0859-38-6495

いずれにも該当しない
かつ 歩ける
保健管理センターに来所して下さい

状況に応じ、保健管理センターに依頼

直ちに医療機関を受診

よくわからない
または判断出来ない

症状・状態が
・歩けない
・持続するめまい
・骨折
・眼の怪我、異物や化学薬品の混入
・持続又は繰り返す胸部不快感や胸痛
・短期間に繰り返す腹痛・嘔吐・下痢など

意識
ない(返事がない)
明瞭(症状の説明が可能)

呼吸
ない(確認不可)
問題ない(規則正しい)

周囲の安全確認

安全が確保できない / 自らも危険となる可能性

安全 / 安全が確保

自らの安全を守る行動を取る

110番